



(写真撮影者 吉谷 雅彦)

C O N T E N T S

- 専門の立場から
カテーテルアブレーションについて 小河 清寛
- 放射線部技師長 新任のご挨拶
- 新管理者のご挨拶
- 地域医療連携課だより
- 登録医から一言
- 外来診療担当医一覧

理 念

『病める人の身になって、
心のこもった最良の医療を目指します』

基本方針

1. 福岡市の基幹病院として急性期医療を担います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担による地域完結型医療を目指します。
3. 安全で質の高い医療を追求し、患者さんに満足していただける病院を目指します。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
5. 新しい時代の医療を先取りし、常に研鑽努力します。

Hamanomachi Hospital

〒810-8539 福岡市中央区長浜3丁目3-1 TEL 092・721・0831 FAX 092・714・3262
<http://www.hamanomachi.jp>

カテーテルアブレーションについて

循環器内科 小河 清寛



はじめに

循環器疾患は全身に血液を循環させる臓器である心臓や血管などが正常に働くなくなる疾患です。虚血性心疾患や不整脈疾患、心臓弁膜症、心筋疾患、肺循環疾患、さらには大動脈疾患、末梢血管疾患など幅広く、そしてどれもが急激に重篤な状況に陥る可能性のある病気を対象としています。今回は意外と多くの人がもっている不整脈疾患の話をとりあげてみます。

不整脈について

不整脈は脈の打ち方が乱れることをいいますが、不整脈と一言にいっても非常に多くのものがあります。人の心臓は非常に巧みな動きをすることで全身に血液を送り出すポンプ（図1）です。その動きの協調性が失われるとしっかりと動いている心臓でさえ20%の働きが失われるとされています。不整脈疾患は心臓の巧みな協調性を損なうものでもあります。大きく分けると脈が遅くなるものと早くなるものに分けられます。症状もさまざままで動悸や息切れ、さらには失神まで起こしうるものですが無症状といったこともありますので診察だけではわかりません。またそれぞれの治療は異なるので正確な診断が必要となります。しかしながら診断方法はいたってシンプルで心電図（正確には発作の時）をとるだけで診断することができます。

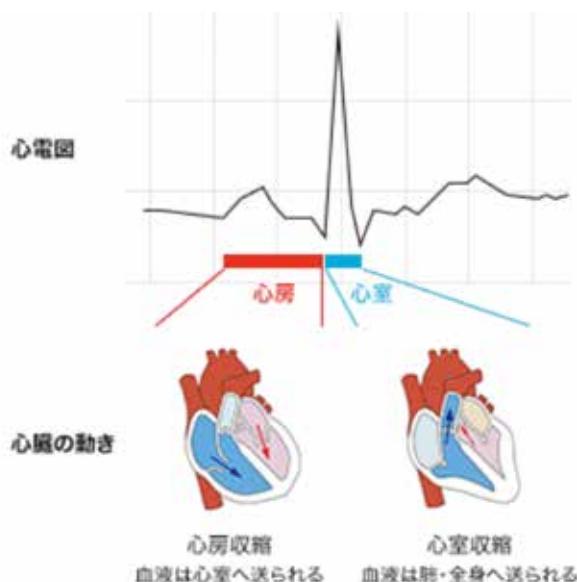


図1 正常な心電図と、ポンプ機能を果たす心臓の仕組み
心電図から心房や心室の動きが電気的にわかります。

治療について

不整脈の治療はどのような不整脈かによって異なります。日常生活だけ（無治療）で改善が得られるような不整脈もあれば、極端に脈が遅く、めまいや失神してしまう場合、あるいはその可能性が高い時にはペースメーカーが必要になる不整脈もあります。その他には抗不整脈薬といった薬物治療、外科的治療、カテーテルアブレーション（カテーテル心筋焼灼術）治療などがあり、対象となる不整脈疾患や患者さんの状態や希望などによって治療方針を決めていきます。

今回は、大変普及しているカテーテルアブレーション治療に関して触れてみたいと思います。

カテーテルアブレーションとは

カテーテルアブレーションとは不整脈を引き起こす心臓内の異常な部位にカテーテルを使用して高周波などで焼灼することで不整脈治療を行う治療のことです、カテーテル手術のひとつです。

方法としては足の付け根や首の血管から心臓の中に複数のカテーテルを進めて心臓内の電気現象を記録したり心臓を刺激したりして不整脈の原因を突き止め、どこを治療するか判断します。次に治療部位にアブレーション専用のカテーテルを持ち込んで高周波など用いて熱を利用して治療を行います。

近年普及してきた理由としては医療機器の発展があり、三次元マッピングシステム（図2）があります。このシステムの普及により、カテーテルの心臓内での位置情報や動き、さらにはカテーテルが心臓に当たっている強さもリアルタイムでわかることができ、治療時間の短縮や合併症の軽減につながり、放射線被曝量も当初のものとは大きく改善しています。

治療時間としては治療対象となる不整脈や患者さんの状況で異なりますが1時間程度から数時間以上かかる場合まで様々です。

治療後はカテーテルは抜去し、止血するまで圧迫、その後数時間の間はベッドで安静とします。

治療対象となる不整脈は心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍、心房頻拍、心室頻拍、期外収縮など脈の多いタイプの不整脈です。疾患によって治療成功率は60%～95%と幅もあり、成功するまでに2回以上の手術が必要となることもあります。



図2 ナビゲーションマップを使用したカテーテルアブレーションの様子

おわりに

我が国では高齢化社会に伴い不整脈疾患で悩んでいる患者さんも多くいらっしゃいます。

それぞれの患者さんに合ったニーズに応え、サポートさせていただくべく日々の診療に励んでいます。



図3 カテーテルアブレーション

放射線部技師長 新任のご挨拶

放射線部技師長 川涯 智治



本年度より放射線部技師長をさせていただいております川涯（かわぎわ）と申します。浜の町病院に勤めて28年目となります。川涯なんて苗字耳にされた方は少ないかと思います。出身の鹿児島県出水市、特定の地域に集まった苗字となります。ほかに、園や迫がついた苗字（前園、大迫）も鹿児島県特有の苗字です。九州新幹線の開通で福岡から鹿児島市内へは90分ほどで行けるようになり、5月には九州道南九州西回りもお隣の水俣まで開通し、出水へは2時間ほどで帰れるようになり大変便利になりました。

高校まで鹿児島で過ごし、福岡へ来て33年となりました。

福岡での生活のほうが長くなりますが、同郷の方とお会いすると郷里の話題に花が咲きついで長話をてしまいます。

では本題の放射線部の紹介をさせていただきます。スタッフは技師長1名、主任技師4名、技師13名の計18名で構成されています。

一般撮影装置は最新の検出器を備え、CT装置は逐次近似法を応用した統計学的処理、ノイズ成分除去処理やアーチファクト低減処理を備えています。

装置の殆どは当院の移転とともに最新機種を導入しており、5年経ちますが逐次バージョンアップを行っています。MRIも秋には既存の1.5TMRIから3.0Tの最新機種に更新する予定となっています。装置だけでなく3Dワークステーションも5月に最新版にバージョンアップされ手術支援等、診療科の先生の希望に答える様々な処理機能が追加されました。（右図参照）

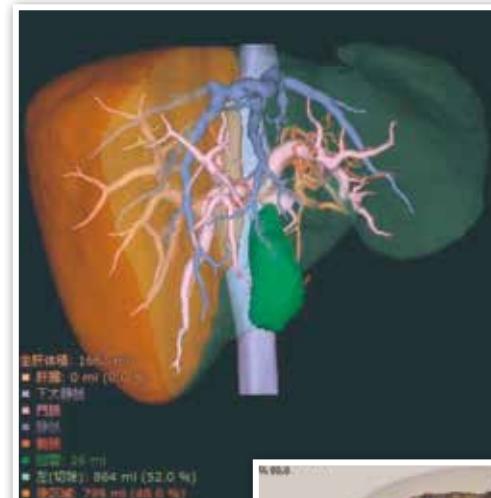
スタッフ一同「被ばくを抑えながら情報量の多い診断画像」を心がけ、日々の診療にあたっております。

また本院の特色としましてCT、MRIに関して、すべて放射線科医師の撮像指示が入るばかりでなく、撮像を行っている画面を放射線科医師の読影室モニターと共有しており、その場で追加撮像等、確認するなど常に放射線科医師と連携を密に図り検査を行っています。

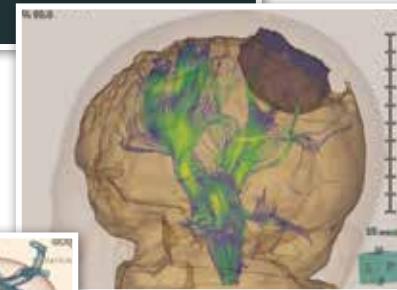
医療機器は日々進歩を続けAIを搭載した機器も各メーカー開発が進み認可、販売を待っている状態です。しかし装置を操作し撮影から画像が出来上がるまでのアルゴリズムを理解しなければ責任ある有用な画像情報を提供することはできません。医療機

器の進歩を受け入れるだけでなく、自らも常に情報収集を行いスキルアップしていく必要があります。放射線部一同研鑽を積んでいます。

我々、浜の町病院スタッフは最新の情報、技術を診療にフィードバックできるよう、病める人の身になって、心のこもった最良の医療を提供することを目指しております。



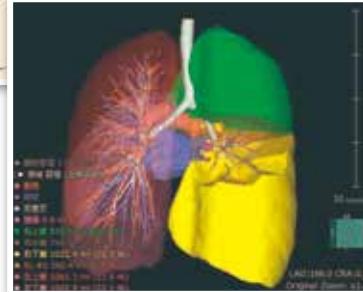
肝臓手術支援画像



頭部神経走行画像



大腸手術支援画像



胸部手術支援画像

新管理者のご挨拶



副院長
大城戸 政行

昭和59年に九州大学を卒業して第一外科に入局し、平成8年から計22年間浜の町病院に勤務しています。

この度4月から副院長に就任いたしました。浜の町病院の良き伝統を守り、質の高い、期待にそえる病院作りを職員の皆様と一緒にすすめていきたいと思います。

専門は乳腺外科です。地域の専門クリニックの先生方と病診連携をすすめ、信頼できる関係を構築していく所存です。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



副院長
三ツ木 健二

2006年より浜の町病院に腫瘍内科部長として勤務し、2019年4月1日付で浜の町病院副院長を拝命しました。

浜の町病院着任当時はまだ珍しかった腫瘍内科という診療科も、がん化学療法の急速な進歩とがん診療連携拠点病院の整備に伴って、患者さんや地域の医療機関の方々にも徐々に認知されてきたことを実感しております。

今後も患者さんにとってより良質ながん診療と地域の医療機関との緊密な連携をめざして一歩一歩努力したいと考えています。

よろしくお願ひ申し上げます。



診療部長
植木 隆

本年4月に当院診療部長となりました、植木です。2001年に1年間当院でお世話になった後、九州大学で下部消化管の外科手術・特に腹腔鏡手術を中心に、1000例を超える大腸癌やクローン病・潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患の治療に携わってきました。

2016年4月に当院へ赴任後も「人に優しい医療」を目指し、人工肛門の回避やお腹を大きく切らない手術など患者さんに負担の少ない治療を行っています。これからも、患者さんに向き合い、患者さん自身やご家族、そしてご紹介いただく先生方のご希望・ご期待に添えるように、努めてまいります。よろしくお願ひいたします。



診療部長
吉澤 誠司

令和元年5月1日付で診療部長を拝命いたしました。2008年9月に浜の町病院に赴任して以来、登録医を始めとする地域の先生方から数多くの患者さんをご紹介いただき、リウマチ・膠原病の診療に邁進してまいりました。今後も地域の医療機関との緊密な連携のもと、リウマチ性疾患の診療はもとより、内科全体の医療の質を向上させ、浜の町病院を受診される患者さんが満足していただける病院を目指して、研鑽努力したいと思います。

今後もより一層のご支援・ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

市民公開講座開催報告

● 2019年3月25日(月)

第27回 「知っておきたい抗がん剤の治療」

副院長 三ツ木 健二

ミニ講座 病院の役割（機能分化）について知っておこう

MSW 近藤 美保子



第27回 公開講座

● 2019年5月27日(月)

第28回 アトピー性皮膚炎の治し方

皮膚科部長 竹内 聰

ミニ講座 知っておきたい！主な高齢者施設・

住宅の種類と選ぶポイント

MSW 大野秀和



第28回 公開講座

2019年 浜の町病院 市民公開講座予定表

開催日時：奇数月 第4月曜日 14時～15時30分

会場：浜の町病院 3階 研修講堂

開催	開催日時	診療科 / 講師	タイトル
第29回	2019年7月22日(月) 14:00～15:30	泌尿器科 山崎 武成 侍鳥 亜沙子	【ミニ講座】介護保険について 【本講座】①排尿のトラブルいろいろ ②前立腺がんの話
第30回	2019年11月25日(月) 14:00～15:30	感染症内科 隅田幸佑	【ミニ講座】病院の機能分化（役割分担）について 【本講座】高齢者のワクチン接種について（仮）

※9月は祝日にあたるため、開催はありません。

※都合によりタイトルや内容を変更する場合がございます。お越しになる際はホームページにて最新情報をご確認ください。

【お問い合わせ】浜の町病院 地域医療連携課 092-721-9991

地域医療連携の会を開催しました

令和元年5月15日(水)
西鉄グランドホテル

令和元年5月15日(水)西鉄グランドホテルにて令和元年度第1回浜の町病院地域医療連携の会を開催しました。

当日は地域の医師会の先生方、医療スタッフの方々に多数ご参加頂きまして盛会のうちに無事に終えることができました。

ありがとうございました。



病院長挨拶 一宮 仁



講演① 浜の町病院の
カテーテルアブレーションについて
循環器内科 小河 清寛

懇談会



講演② 比較的稀だが
重要な胸部疾患の画像診断
放射線科部長 角南 俊也



乾杯のご挨拶
福岡市医師会会長
長柄 均 先生



締めのご挨拶
福岡市中央区医師会会長
占部 嘉男 先生



懇談会の様子

地域連携だより

登録医から 一言

福岡みなと在宅医療クリニック

院長 中堀 亮一

〒810-0062 福岡市中央区荒戸1-3-20

TEL : 092-791-4860

FAX : 092-791-4870

URL : <https://fukuoka-minato.com/>



平成31年4月に中央区荒戸に開業いたしました「福岡みなと在宅医療クリニック」の中堀と申します。九州大学医学部を卒業し、九州大学病院や九州医療センター、佐賀県医療センター好生館で修練を積んで参りました。外科での修練の間に、在宅医療に携わりたいと切に思うきっかけがあり、在宅医を目指す決心をしました。

在宅医療をやるには看取りを含めた緩和ケアの知識は必須であると考え、栄光病院で緩和医療専門医を取得したのち、在宅医療のフィールドに出ました。選んだ場所は東京です。近年の在宅医療はICT化が進み、タブレット端末を利用したオンライン診療やスムーズな医療連携のためのインターネットFAXの使用、ウェアラブル端末を利用した遠隔医療など、これまでになかった発展・進化がみられています。そのような最先端の在宅医療を学んで福岡に持ち帰るために、東京の在宅医療を学ぼう！と決め、修練を積んで参りました。

オンライン診療は皮膚疾患や褥瘡の経過確認に便利ですし、インターネットFAXを使えば車で移動中にモバイルPCから診療情報提供書も処方箋も所望の場所に瞬時に送れます。ウェアラブル端末を使えば、自分はクリニックにいたままで、自宅にいる患者さんの心拍数やSpO2も確認できます。なんて便利な世の中なのか！と思ったのも束の間、そうじゃないことに気づきました。

便利は便利で間違いないのですが、これは患者さん

不在の発想で医療者側だけの視点で考えてしまっていることに気づきました。

働き方改革が叫ばれる昨今、もちろん医療者の負担軽減は在宅医療でも重要な課題なのですが、寄り添うとか支えるとか、安心や信頼といったことはデバイスでは不可能なのです。往診に行って、直接確認して、言葉をかけることが何より患者さんやご家族の安心につながります。便利な道具は、あくまで便利な道具として活躍してもらい、根底にある在宅医療の温かさを忘れてはいけない。東京に行って一番学んだことはこれでした。

「福岡みなと在宅医療クリニック」の「みなと」の意味は、「中央区港町」のすぐ近くにあるということもあります、一番の意味は、病院の皆さんや在宅医療に関わる全ての職種の「皆と（みなと）」一緒に力を合わせて素晴らしい在宅療養を実現するということから来ています。当院スタッフ一同、精一杯努力して参りますので、浜の町病院のスタッフ皆様、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



国家公務員共済組合連合会 浜の町病院外来診療担当医

■ 救急患者紹介連絡先 月～金 (8:30～17:15) Tel 092-721-9913(連携課直通) / Fax 0120-721-991(連携課直通)
上記以外の時間及び土日祝 Tel 092-721-0831(病院代表)

(令和元年7月1日現在)

診療科	時間	専門	月	火	水	木	金
内科	午前	総合診療	大串 汀	原田由紀子	大串 汀	隅田 幸佑	原田由紀子
		血液	衛藤徹也	吉田周郎	衛藤徹也	第1,3,5下川 第2,4林	栗山拓郎
		循環器	本田勝也	小河清寛	臼井 真	船越祐子	塩見哲也
		消化器	尾石義謙	瀬尾 充	瀬尾 充	岩崎一秀	尾石義謙
		腫瘍	田中吏佐	田中吏佐	田中吏佐	田中吏佐	三ツ木健二
		肝臓	柴田倫子	高橋和弘	具嶋敏文	高橋和弘	高橋和弘
		呼吸器	前山隆茂	前山隆茂	前山隆茂	前山隆茂	前山隆茂
		麻生達磨	三雲七重	麻生達磨	塩田彩佳	三雲七重	
		糖尿病内分泌	渡邊洋子	平松真祐	平松真祐	渡邊洋子	平松・渡邊
		腎臓	久永哲也	吉田鉄彦	出口孝史	出口孝史	吉田鉄彦
脳神経センター <small>脳外科(月・水・金)の午後、 神経内科の午後は 紹介患者と予約のみ</small>	午前	膠原病	—	前川真貴子	吉澤誠司	前川真貴子	—
		感染症	隅田幸佑	原田由紀子	原田由紀子	隅田幸佑	原田由紀子
		脳外科	松角宏一郎	—	松角宏一郎	—	松角宏一郎
	午後	奥田智裕	—	奥田智裕	—	奥田智裕	—
		神経内科	松山友美	佐竹・松山	佐竹真理恵	佐竹・松山	佐竹(新患のみ)
		脳外科	松角宏一郎	—	奥田智裕	—	松角宏一郎
外科 <small>※木曜日の午後は Dr大城戸への乳腺紹介のみ</small>	午前	奥田智裕	—	—	—	—	奥田智裕
		消化器・一般	山元啓文	一宮 仁	前山 良	山元啓文	植木 隆
		中山宏道	植木 隆	河野 博	前山 良	田村公二	
		—	河野 博	—	田村公二	—	
	午後	呼吸器	—	—	松本耕太郎	松本耕太郎	—
産婦人科 <small>新患は紹介のみ ※受付時間 月・水・金 8:30～11:00 火・木 8:30～10:30 産科初診のみ婦人科で受付</small>	午前	乳腺・甲状腺	大城戸・本庄	大城戸・河野	河野 博	田村公二	田村公二
		乳腺	—	—	—	大城戸政行 (紹介新患のみ)	—
		産科	詠田真由	桑原正裕	田中章子	猿渡万里子	高津広美
		婦人科	上岡陽亮	前原 都	上岡陽亮	大石博子	上岡陽亮
			大石博子	田中章子	前原 都	桑原正裕	大石博子
整形外科 <small>新患は紹介のみ *受付時間 月・水・金 8:30～10:30 火・木 8:30～11:00</small>	午前	桑原正裕	高津広美	桑原正裕	—	前原 都	
		高津広美	—	詠田真由	—	田中章子	
		—	—	—	—	詠田真由	
		紹介新患のみ (当番医)	馬渡太郎	紹介新患のみ (当番医)	松井 元	馬渡太郎	
		松井 元	—		井口貴裕	井口貴裕	
形成外科	午前	牛尾哲郎	—		光安浩章	光安浩章	
		中山恵介	—		牛尾哲郎	中山恵介	
		綾部裕介	—		江口大介	—	
		—	—		—	—	
泌尿器科	午前	松本大輔	—	松本大輔	—	当番医	
		舟橋ひとみ		舟橋ひとみ			
		久永 佳奈		久永 佳奈			
小児科 <small>午後は予約のみ 内分泌 第3水曜日／ 循環器 第4木曜日のみ (予約)</small>	午前	山崎武成	待鳥亜沙子	山崎武成	山崎武成	待鳥亜沙子	
		平井 良樹	—	待鳥亜沙子	—	平井 良樹	
		森 さよ	名西真希子	森 さよ	武本環美	森 さよ	
耳鼻咽喉科	午前	森 さよ	—	武本(小児神経)	1ヶ月健診	名西真希子	
		予防接種	—	内分野(第3)	循環器(第4)	健診・予防接種	
		岡 正倫	玉江昭裕	—	玉江昭裕	玉江昭裕 (第1第3休診)	
眼科	午前	岡部 翠	岡 正倫		岡 正倫	岡部 翠	
		中島紘一郎	安井徹郎		岡部 翠	安井徹郎	
		—	中島紘一郎		安井徹郎	—	
		正田伸一	—		正田伸一	正田伸一	
皮膚科 <small>(新患は紹介のみ)</small>	午前	応援医	平島昂太	(当番医)	平島昂太	平島昂太	
		竹内 聰	小田真理		竹内 聰	竹内 聰	
		小田 真理	井上慶一		井上慶一	小田 真理	
放射線科	午前	角南俊也	角南俊也	角南俊也	角南俊也	角南俊也	
		瀬戸口太郎	瀬戸口太郎	瀬戸口太郎	瀬戸口太郎	瀬戸口太郎	
		舛本博史	舛本博史	舛本博史	舛本博史	舛本博史	
		吉川真由美	吉川真由美	吉川真由美	吉川真由美	吉川真由美	
緩和ケア外来 <small>※原則として当院で診療を行っている患者のみ 11:00～12:00(完全予約制)</small>	午後	緩和ケア外来	永山 淳	永山 淳	—	永山 淳	永山 淳
健康医学センター(要予約)	午前	外来ドック	松尾 千華	松尾 千華	松尾 千華	松尾 千華	松尾 千華
			久野千津子	久野千津子	久野千津子	—	久野千津子

受付時間：午前8:30～11:00

発行責任者／浜の町病院広報誌編集委員会 委員長 三ツ木 健二